

災害調査 秋田県横手市増田町狙半内雪崩調査 (2021. 1. 3)

研究代表者	雪氷：荒川逸人	実施期間	令和2年度
研究参加者	雪氷：安達 聖		

[災害の概要]

2021年1月2日13時45分頃、秋田県横手市増田町狙半内の秋田県道274号中村上吉野線付近で雪崩が発生し、軽トラック1台が巻き込まれた。車外から男性1名が救出され市内の病院に搬送されたが死亡が確認された。現場は一時通行留めとなったが2日夕方までに開通している。横手市周辺では12月30日から多量の降雪が見られ積雪深が急激に増加していた。

[目的]

本調査の目的は、現地の雪崩後のおよび積雪が時間とともに変質する前に災害調査を行い、雪崩の発生原因を明らかにすることにより、災害防止に資することである。

[実施内容]

実施日：2021年1月3日

実施項目：雪崩調査および現場付近平地での積雪断面観測

[成果と効果]

UAVによる空撮をおこない、灌木が立ち上がった一帯があり、発生区であると推測した(図1)。また、デブリが土砂や樹木を含んでいたことから、全層雪崩と判断した(図2)。道路上におけるデブリは幅30m、高さ3m程度であった。

斜面近くやや平坦な箇所での積雪断面観測を実施した。積雪深は205cmあり、全体として、しまり雪の積雪であったが、90cmより下は湿雪の層となっていた。調査中も周辺の樹木で、冠雪の重みによる枝折れ・落雪が起っていたことから、落雪が雪面を刺激したことによる雪崩発生が推定された。また、積雪下層が濡れていたことから、灌木などの立ち上がりが起こりやすくなっていると推測され、全層雪崩を誘発したと考えられる。

また、横手市や湯沢市周辺では12月30日から多量の降雪が見られ積雪深が急激に増加していた(図3)。

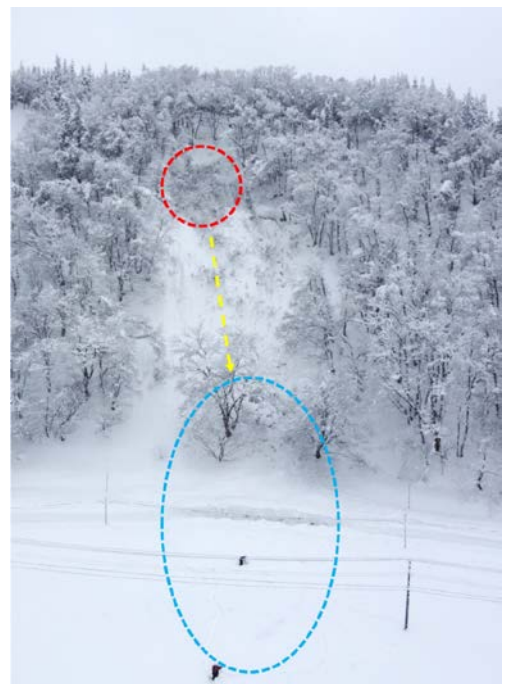


図1 発生区(赤)・走路(黄色)・デブリ(青)



図2 道路のデブリの状況

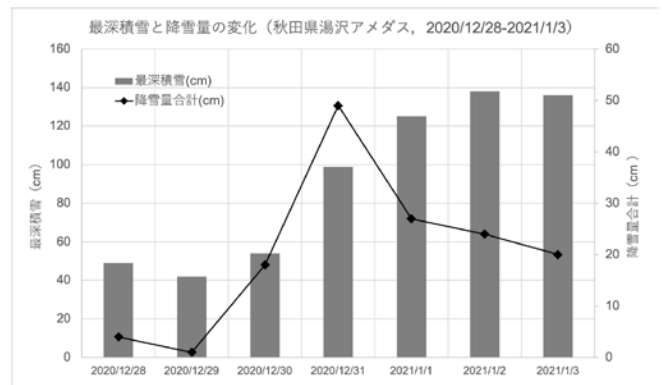


図3 雪崩発生地点から最も近い秋田県湯沢アメダスの最深積雪と降雪量の変化(2020/12/28~2021/1/3)

